

そして僕は、
ルーティンからルーティンへと切りかわる地点を
「ソバでマジワル」と名づけ、
そこに「キヅキのスイッチ」をつくることにした。

橋本雅好研究室 設計 高濱伶名

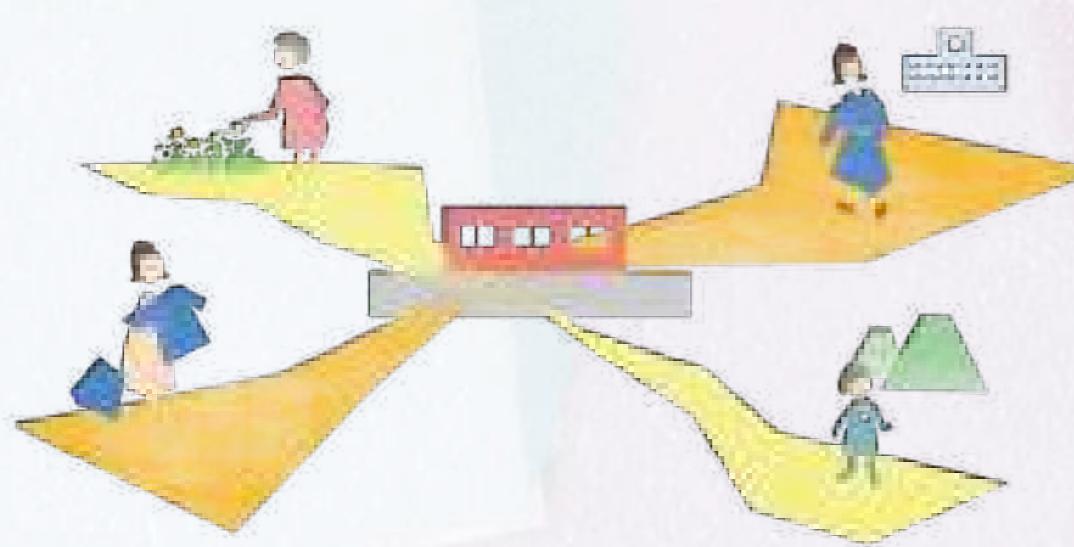
僕は三重県の小さな集落の近くに事務所を構えている。
事務所とはいって、いつも仕事がある訳でもなく、とりあえずかき集めてきた
工具を揃えているものだから、この辺では何でも屋の建築家と名乗っている。
ここにいると、すぐ目の前に駅があり人の出入りがあるものだから、
つい様子を眺めてしまう。

毎日のように見かける顔が、窓の向こうを通していく。

第一駅はソバでマジワル場所

ある日気づいたことがある。

それは、駅は人々のルーティンの切り替わりの場所であり、
人々の切り替わりが知らぬ間に交わっていることである。



人々には駅をルーティンにしているという接点を持っているのではないか。

このソバにある日常の中で知らぬ間に交わっている地点を、「ソバでマジワル」と名付けてみよう。

しかし、ルーティンを毎日繰り返しているうちに何も考えずに気づけば体が駅に向かうように、ソバでマジワル時間は空白になっている。

スイッチの持ち主
こそそぞ社会員

モノとモノのとりかえ
家から駅 クロックス 駅から目的地 草靴

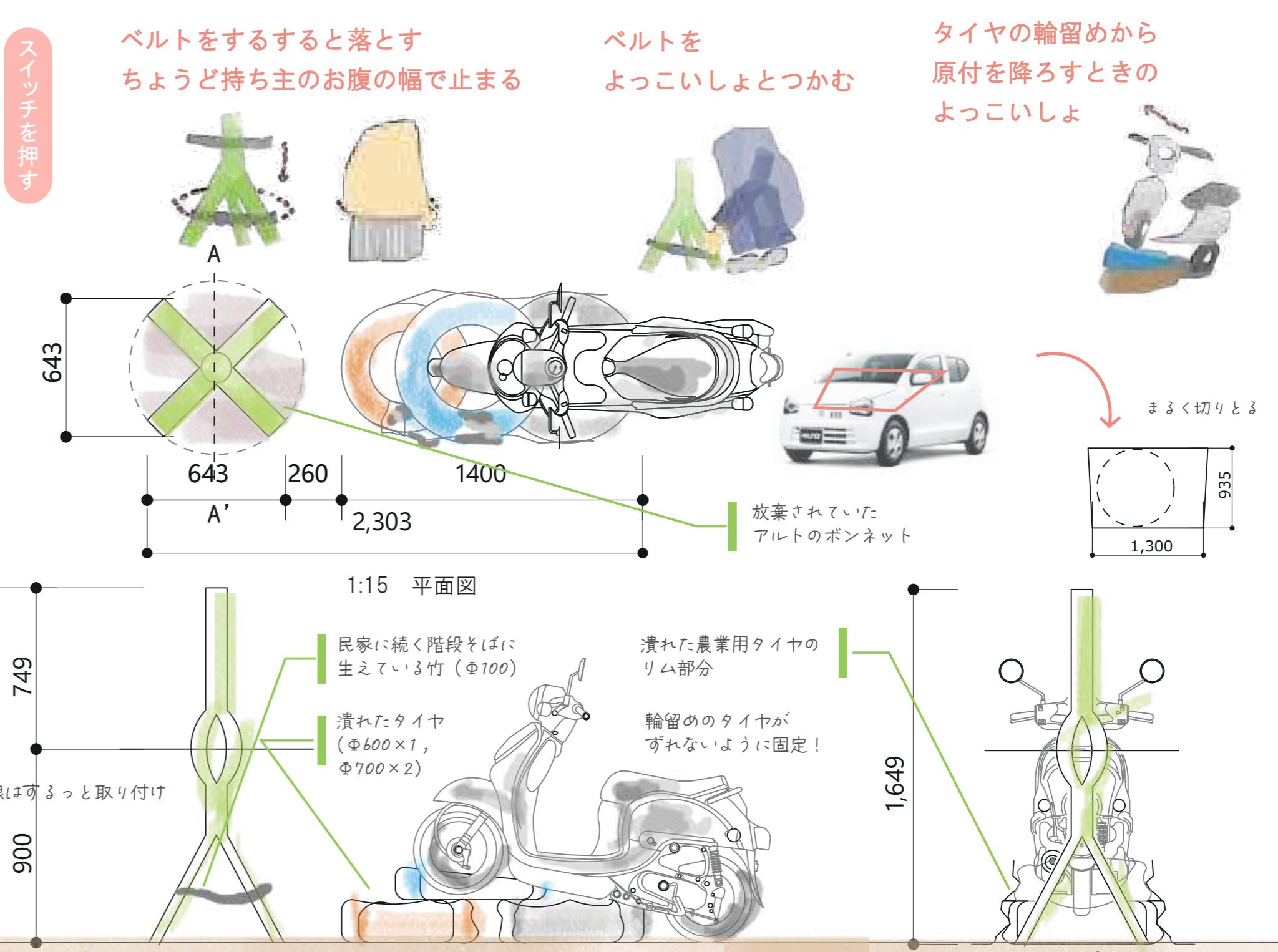
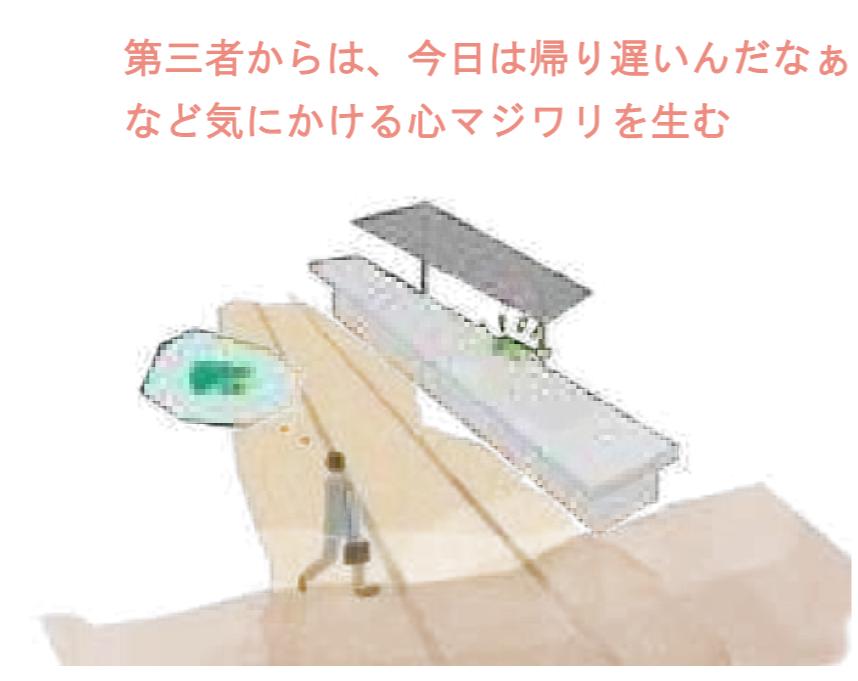
欲を言えばずっと楽ちんなクロックスを履きたいけど
仕事関係の人にみられたらまずいし…
せめて家の近所の道のりは履き替えたい。

スイッチの持ち主
中年太りおじさん

モノとモノのとりかえ
家から駅 原付バイク 駅から目的地 ベルト

家から駅までの往復は原付バイクに乗っている。
若い頃に比べたらお腹が出てきた。
バイクに乗る姿勢でベルトは苦しいから、ベルトを外している。

タイヤの輪留めから
原付を降ろすときの
よっこいしょ



キヅキ の心の動きを元にスタディ
・こっそりとした背徳感の心の動き
ホームにある既存の椅子の下に
めくる行為をして、取り出したり
隠して取り換える。

修正！自分のスイッチは自分専用に

いや、他人も使う共用の椅子にスイッチを作ってしまう
と、もしかれかが座っていたら自分のスイッチが使えない
くなるなあ。スイッチが成り立たなくなってしまう！
隠す背徳感を持つデザインはそのままに、
誰もが分かる椅子ではなく、**自分専用**の自分が椅
子として使えるデザインに修正してみた。

キヅキ の心の動きを元にスタディ

・「よっこいしょ」を生む

原付に乗るときは大きく姿勢を
変えて、ベルトでは土台にくくる
ことでしゃがませて、太ったのを
実感させる…？



修正！押す行為を自然に

負担をかけさせるデザインは
ルーティンの中のスイッチとして
達成感があるなあ。

原付ではタイヤを使った輪留めにして車体を
持ち上げる程度にした。
ベルトでは、パイプの錐にするすると落とし、
持ち主の腹周りの幅で止まるようにしてみた。



修正！スイッチを押す行為をコントロールする
しまった、錐の形にしてしまうと、
ベルトをするする落とす行為が無くてもベルトを
くくることができてしまう。

スイッチを押す行動を促せられないではないか！
お腹周りの幅はしゃがむ高さから
広がるようにし、スイッチを押す
行為をコントロールした。

第二 気にかける心のマジワリ



ソバでマジワル人たちの存在に気づくと、ルーティンのマジワリを重ねる度に、普段の無意識ないつもの時間がマジワル人を気にかける時間になるのではないか。
このような心のマジワリを生むことを、僕の生業にした。

第三 キヅキのスイッチの設計手法

自分だけのスイッチ

自分のルーティンの切り替えを表す

モノとモノの取り替えでスイッチを押す

持ち物を変えることはまさにルーティンの切り替わりである

心の動きをもたらすデザイン

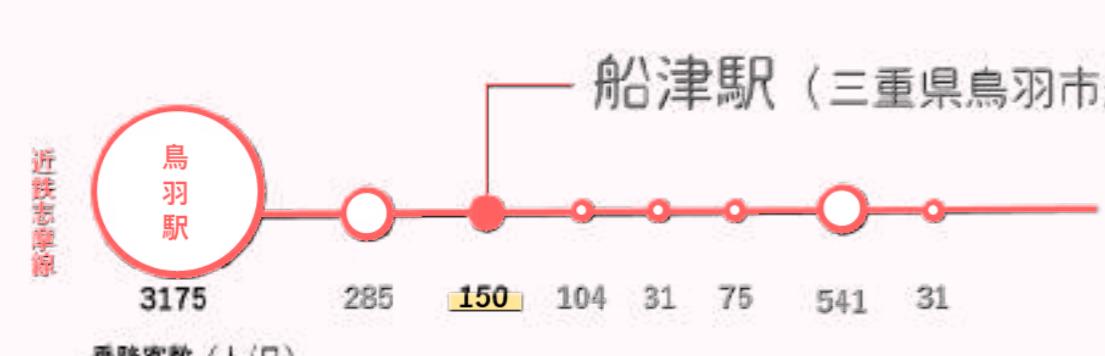
気づくことは心の動きをもたらすこと

ただ一人のためのスイッチの規模

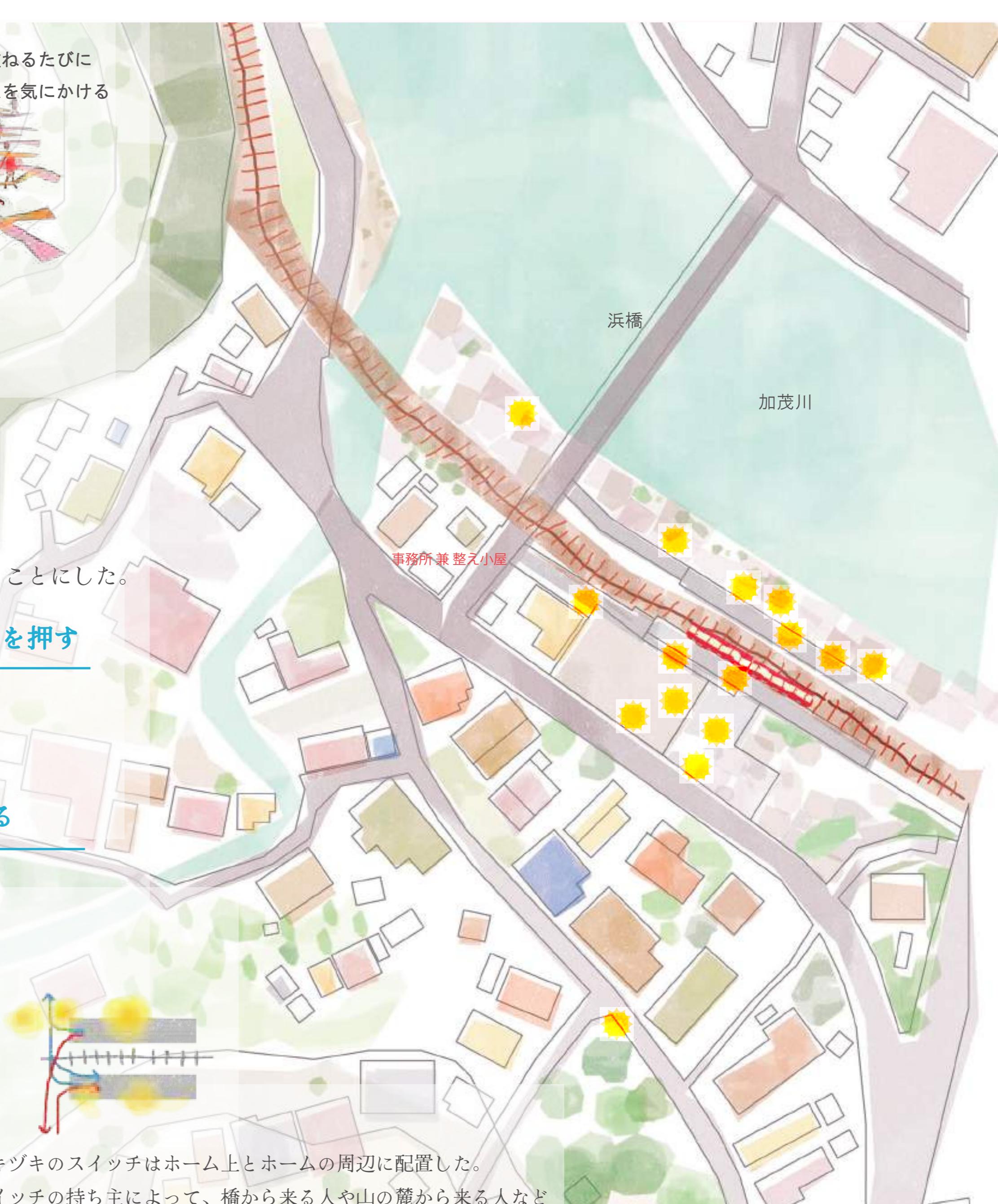
第五 行き帰りも押しやすく

キヅキのスイッチはホーム上とホームの周辺に配置した。
スイッチの持ち主によって、橋から来る人や山の麓から来る人など行き帰りに通る道付近にスイッチを置く。

第四 小さな駅に掛ける



スイッチをつくった場所は僕の事務所がある三重県鳥羽市の船津駅にした。
改札がなく、1時間に1本の便で一度に降りる人数が多くて5人ぐらいである。

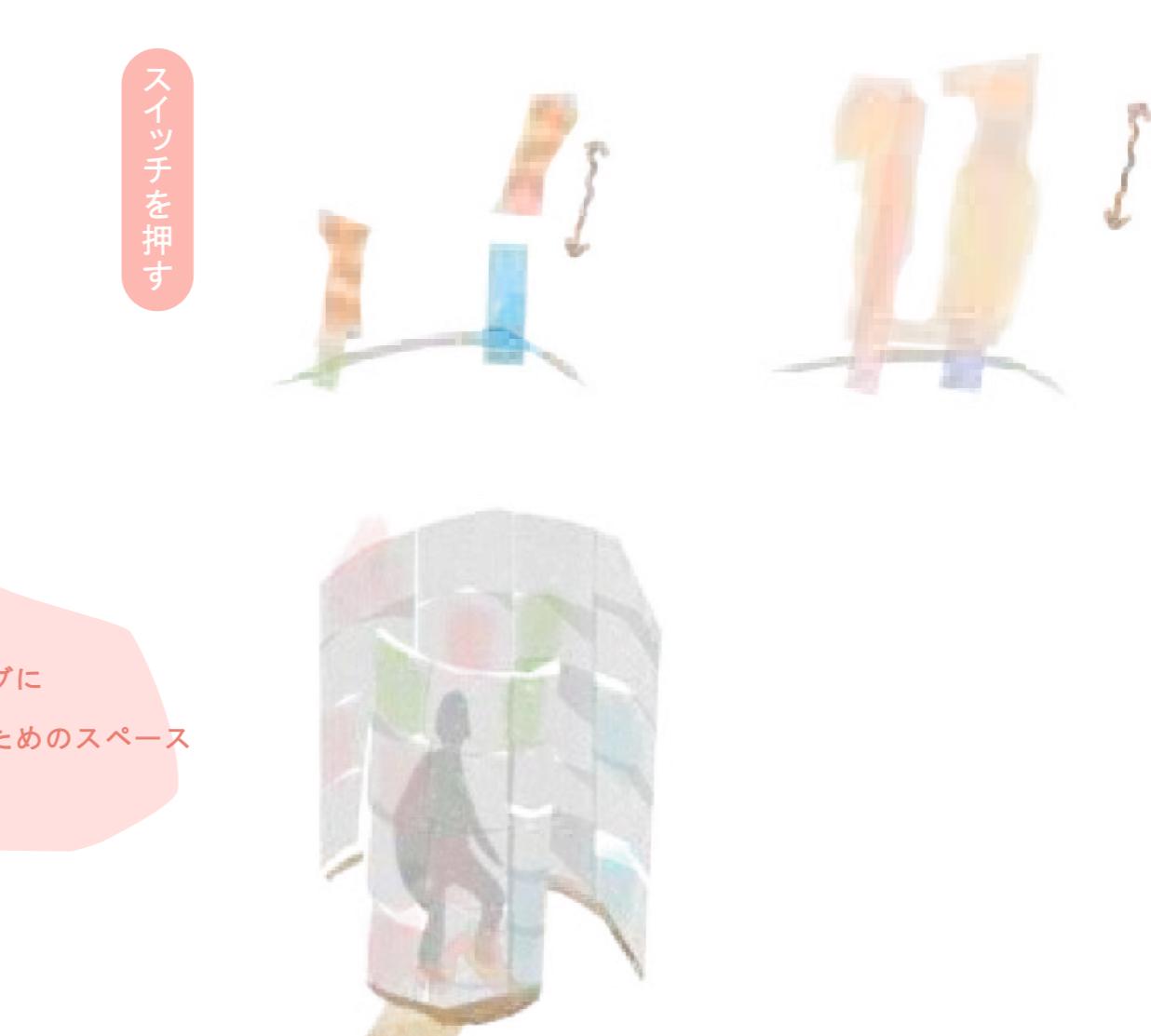
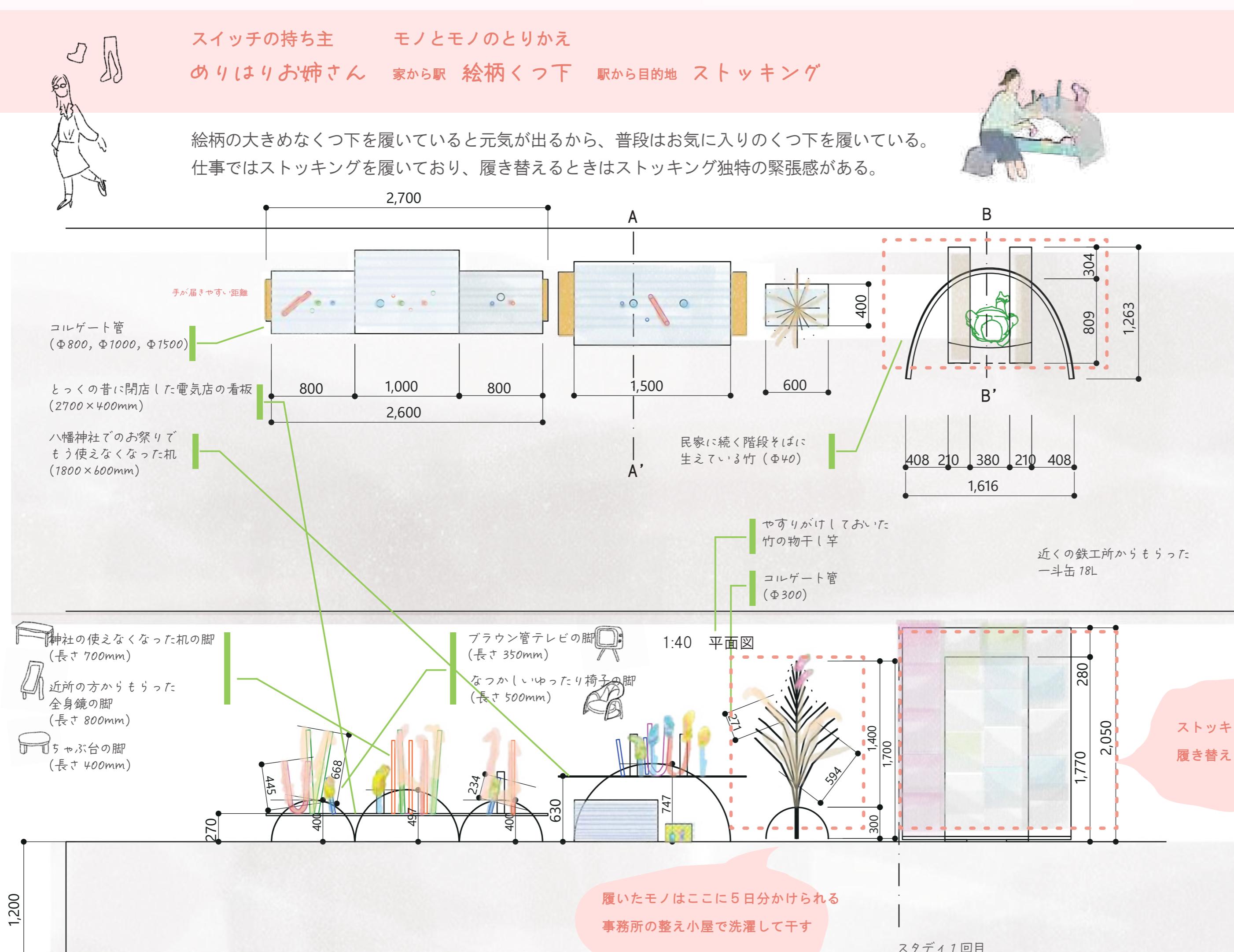


スイッチの持ち主 モノとモノのとりかえ めりはりお姉さん 家から駅 絵柄くつ下 駅から目的地 ストッキング

絵柄の大きめなくつ下を履いていると元気が出るから、普段はお気に入りのくつ下を履いている。
仕事ではストッキングを履いており、履き替えるときはストッキング独特の緊張感がある。



くつ下・ストッキングを履かせる・脱がせる



修正! 材料を踏ませて再検討

課題 木だけ使用するとオリジナルの感覚があまり持てない。

改善 現地で収集した家具の脚を選定し、それらをお家の玄関に沢山置かれていた植木鉢の底の穴に刺して土台代わりにする。

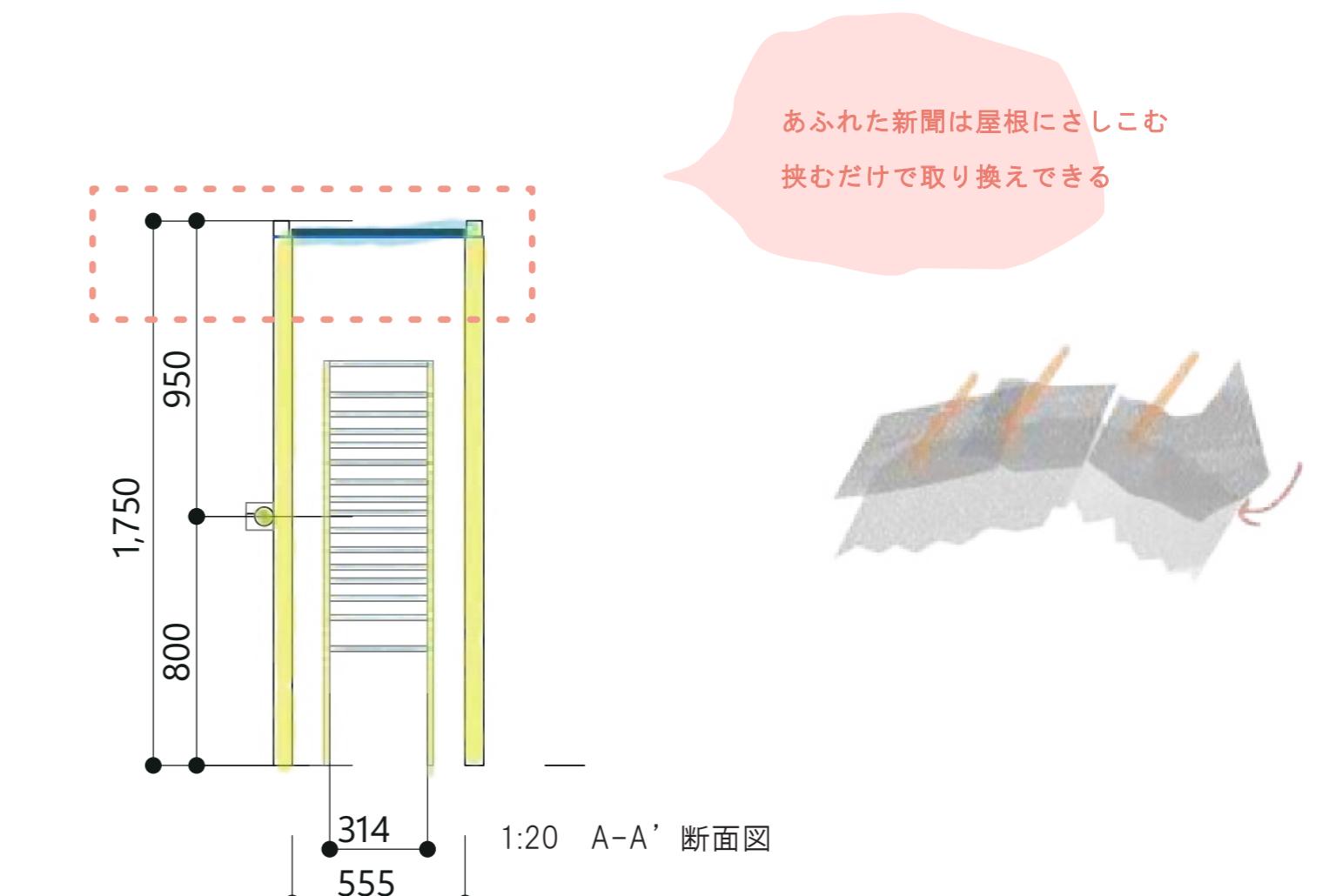
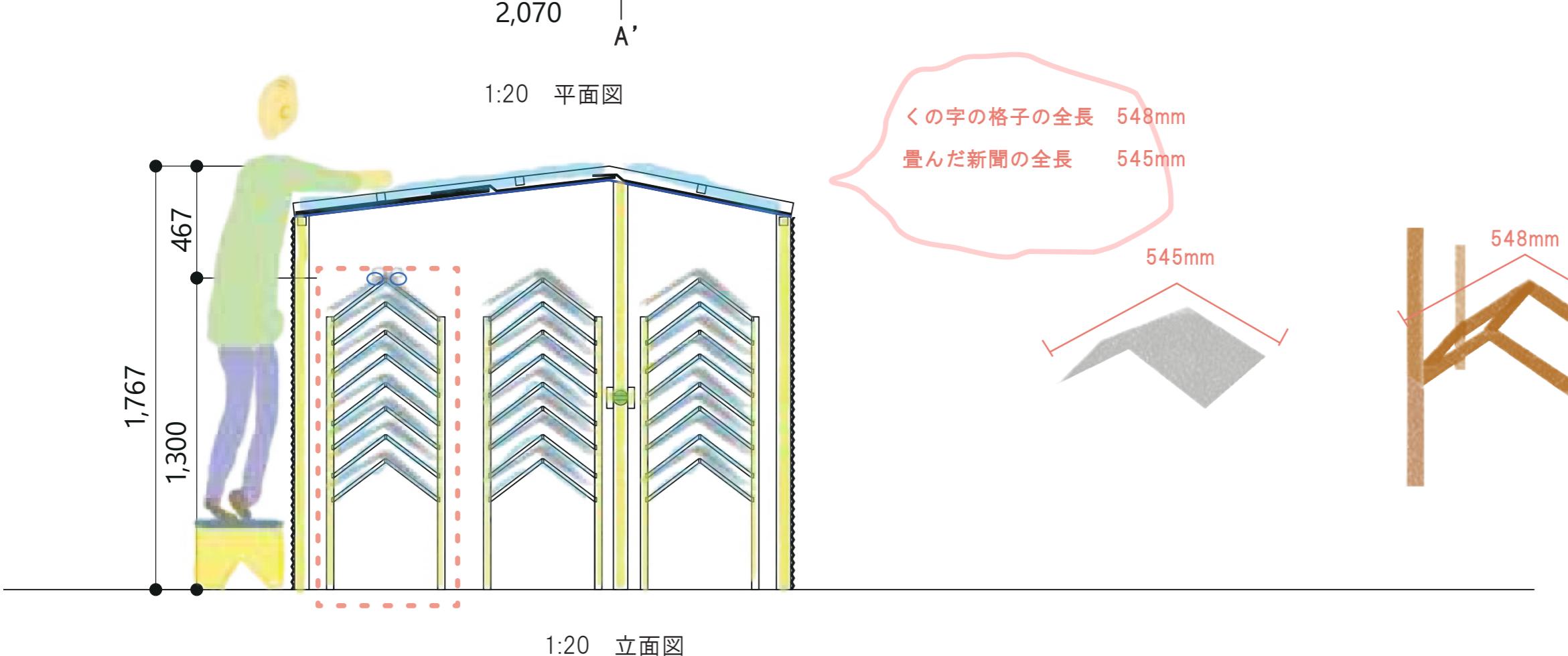
さらに課題が!

- 履いたくつ下を置いておくバーツが必要だ!
- そもそも植木鉢の底の穴に家具の脚が入るのか…?
- ストッキングはどうやって履き替えるの?

1:40 A-A' 断面図

1:40 B-B' 断面図

履かせる、脱がせる
くつ下の長さとストッキングは長さの違いや、丈夫さや繊細さから生れる緊張感の差がある。
例えば棒の長さ・角ばってても大丈夫・角は丸くなど履かせるデザインを軸にしてみよう。



スイッチに適さないモノもある

スイッチの持ち主 女子高校生

モノとモノのとりかえ



課題

はじめは新聞電車と漫画を取り換える人の
スイッチを想定した。しかし ...

新聞は毎日更新され家から持ち出すモノ
であるため、電車内で新聞を読むために
駅で新聞の取り換えをする行為は
現実的ではない。



モノのとりかえの再検討と加える要素

新聞紙を差し込むような形で積むような設定ならば、差し込むときの寸法が新聞に対して適切なのか。

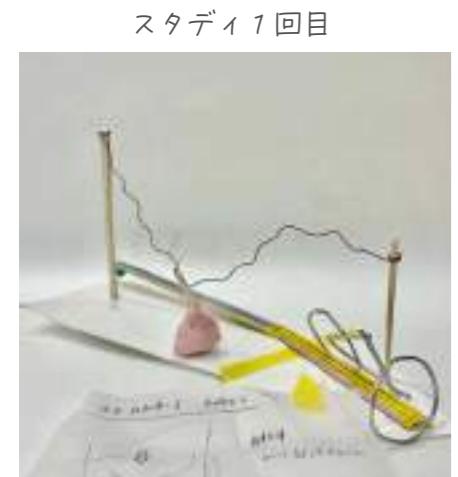
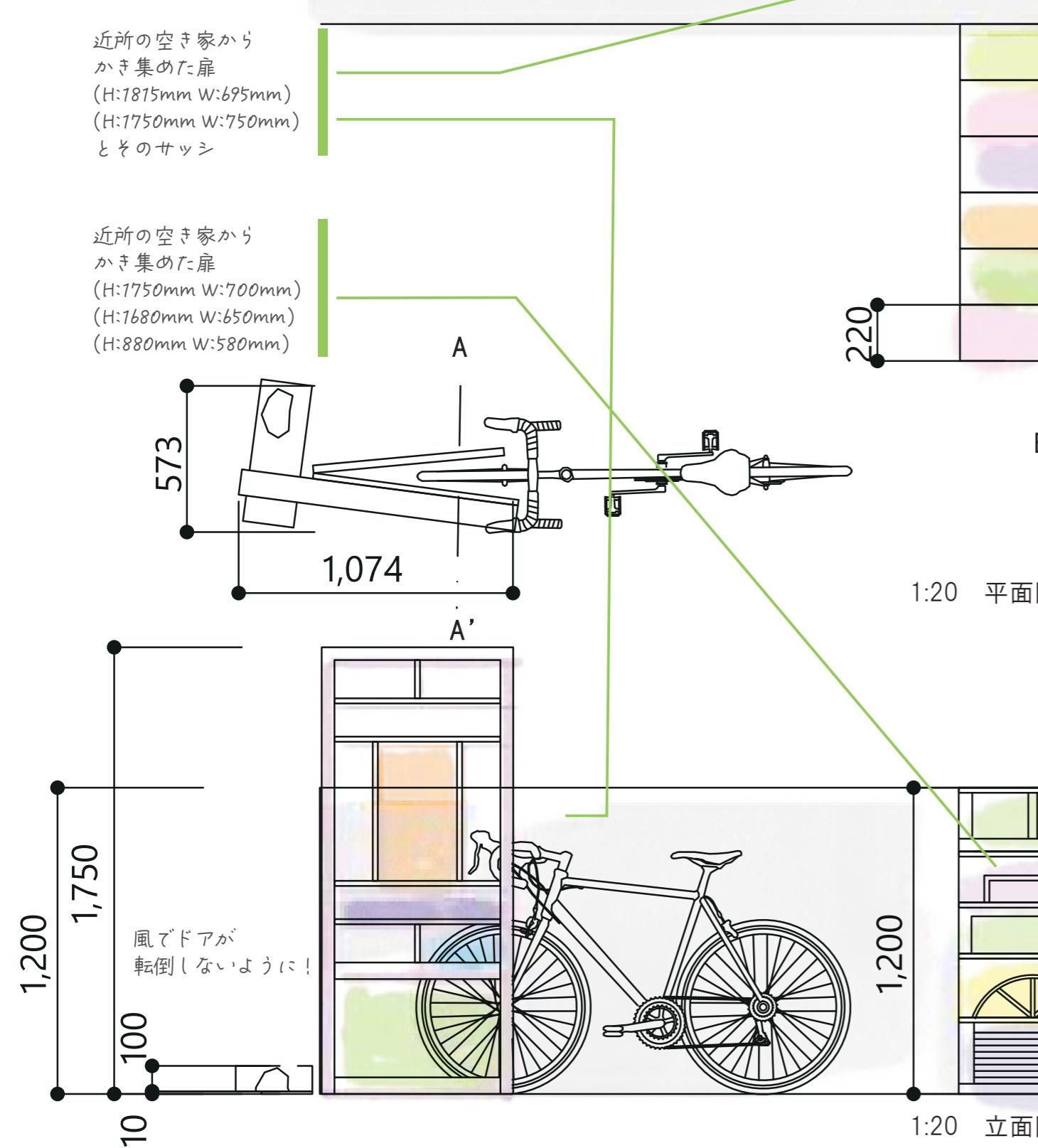
また自分でメンテナンスをするならば
簡単にできるように設計する。

スイッチの持ち主 女子高校生

モノとモノのとりかえ 家から駅 赤い・自転車



兄からのおさがりの自転車で通学している。あまり好きじゃない赤色だし目立つから恥ずかしい。お腹が弱い体質で、親から心配されており習慣として腹巻きをしている。



キヅキ の心の動きを元にスタイル

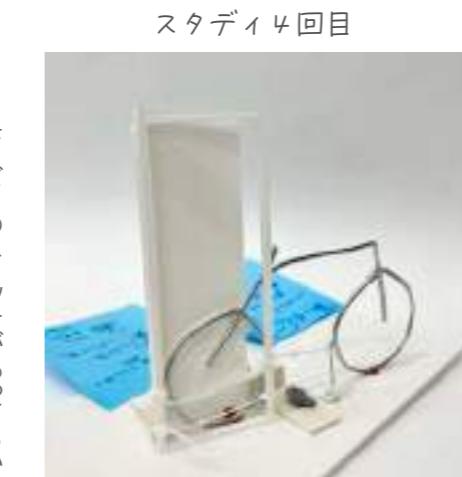
- ・はずかしい！

授業中に筆記用具を落としたときに、想像以上に遠くまで転がったときに「はずかしい！」感覚 →ころころ転がるようデザインに



課題 改善

- 修正！「押す」は切り替わる一瞬にアプローチ部分は切り替わる前のルーティン部分のデザインだから△
- 「扉を開けて取る」など切り替わりの**瞬間的な行為**でスイッチを「押す」デザインに



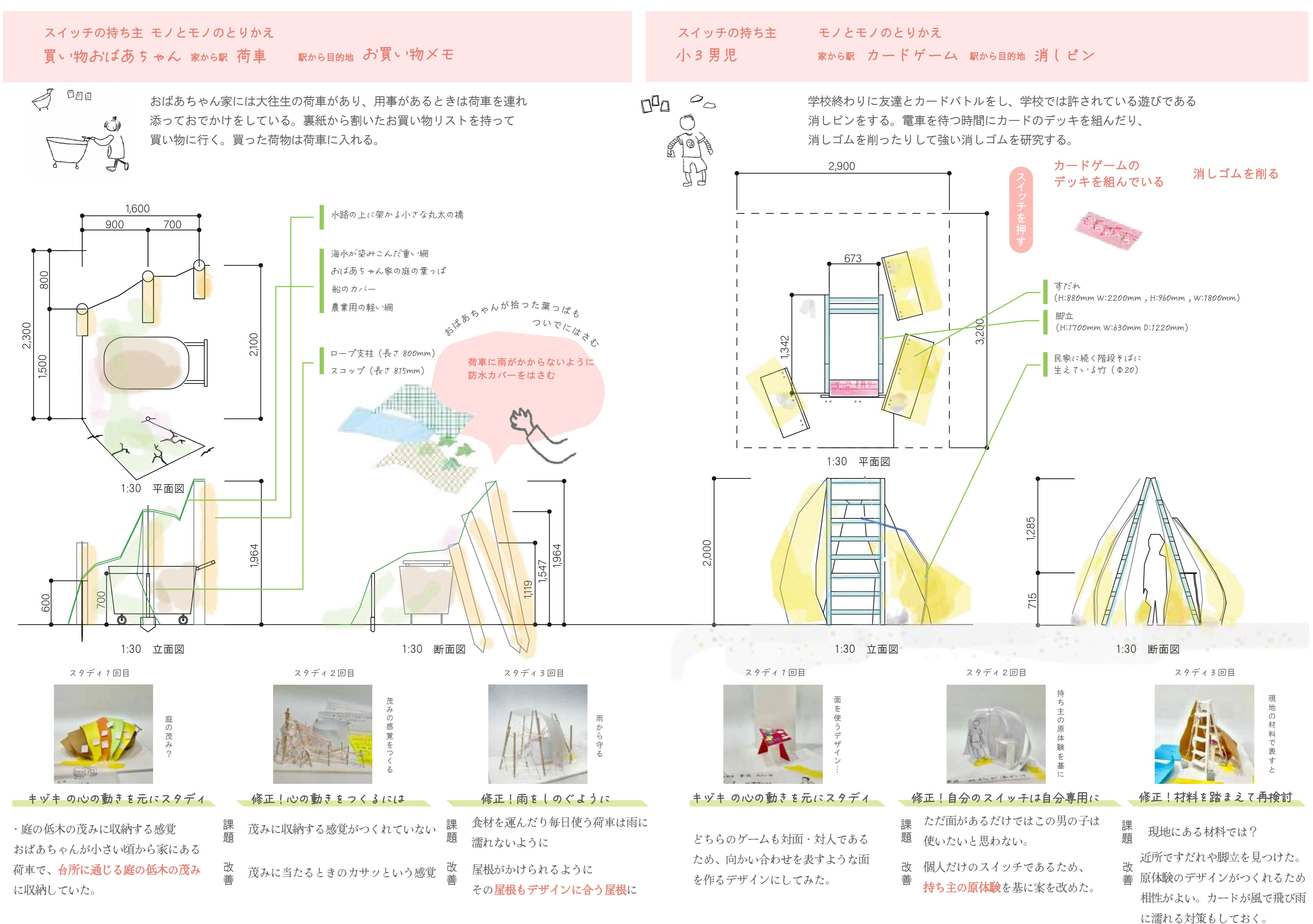
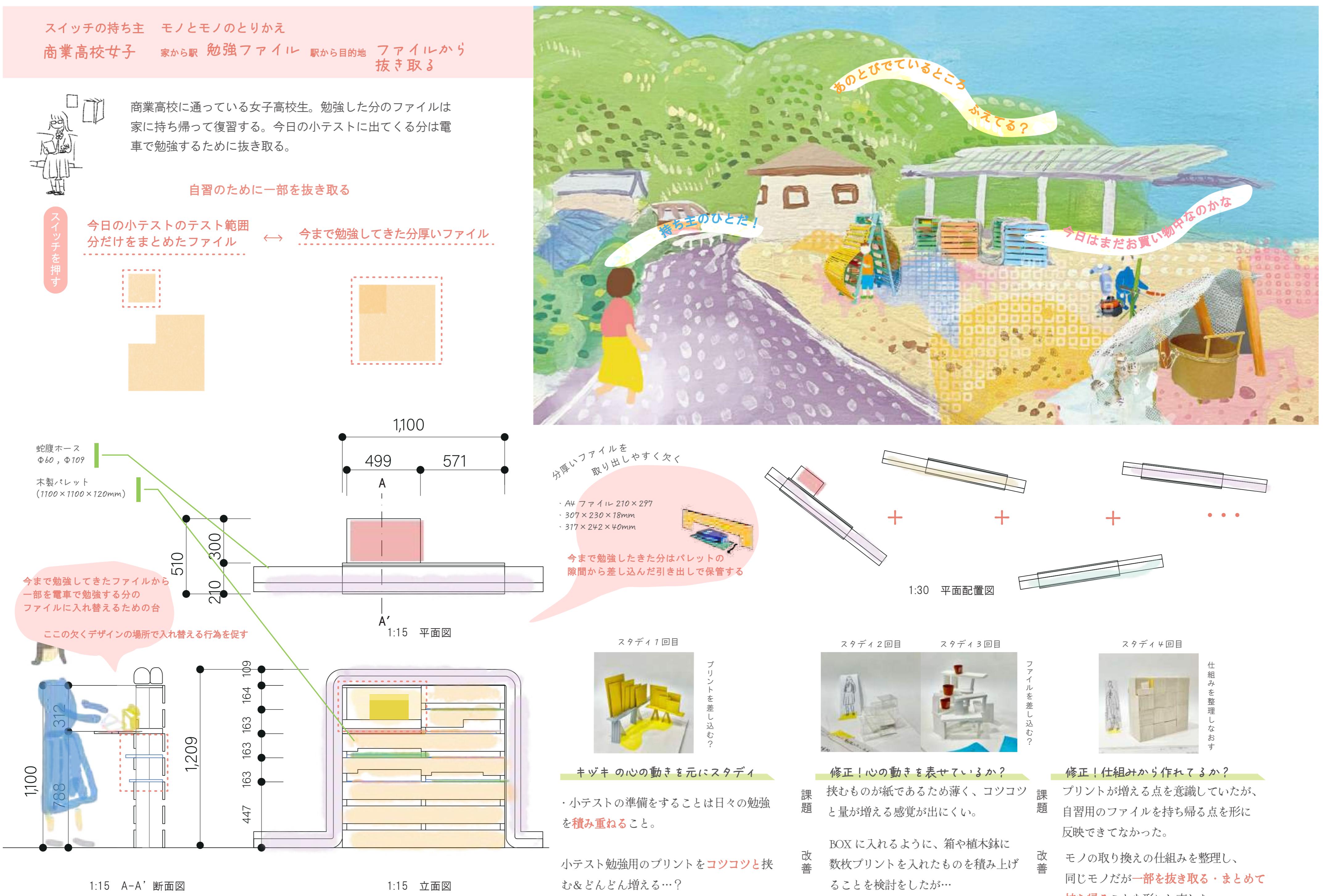
課題改善

修正！「押す」は切り替わる一瞬に

赤い自転車を立てかけるだけを想定していたが
操作が少なく自転車の取り換えが案に反映できていない。

ちらりと隠れる輪留めを加えた。
同じ持ち主のスイッチのセットのため扉を引用する。

ホームとホーム外で離しておくが、**自然な移動の動線上**
や**ショートカット**するような動きにする。



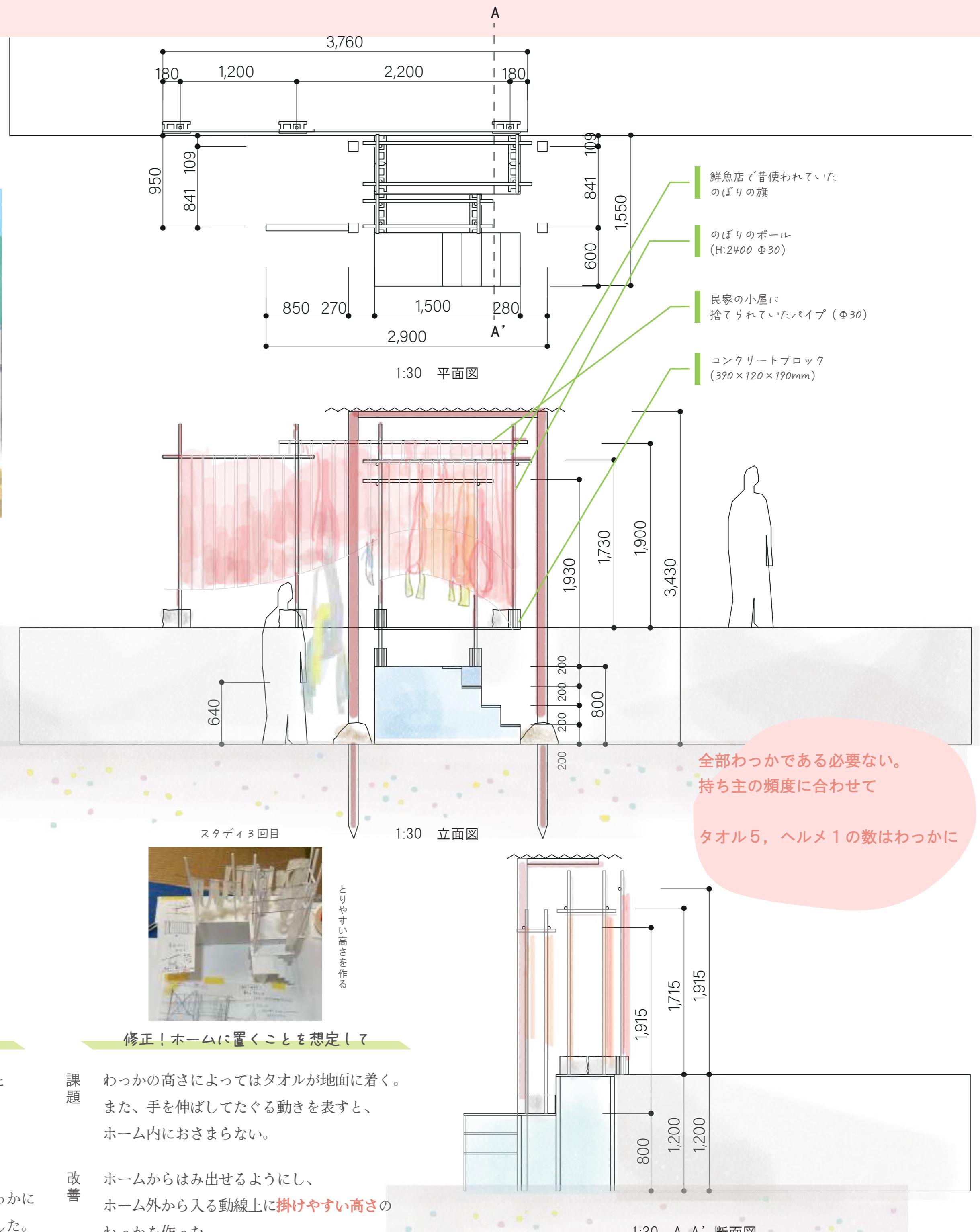
スイッチの持ち主
作業員のおじさん

モノとモノのとりかえ
家から駅 タオル

駅から目的地 ヘルメット



普段は癖でタオルを首に巻いており、仕事ではヘルメットを被っている。
手荷物を減らすためにヘルメットは電車内でも被っちゃう。



スイッチの持ち主

モノとモノのとりかえ

謎のおじさん

家から駅 よくあるサンダル

駅から目的地 カーキのジャンパー、カーキの長靴、カーキの帽子



船津駅にいつもいる、私生活が謎に包まれた謎のおじさん。
出かけるときはなぜか全身がカーキの装い。



スタディ1回目

キッキの心の動きを元にスタディ

いつも決まった動き

「スロットぽんぽんぽん」のリズム
でモノをはたいて下に落とす

指先と手のひらの違い

ぽんぽんぽんはリズムよく

課題 下に落としたらしゃがんで取るため、ぽんぽんぽんのリズムが崩れる

改善 高さと直径があったバケツを用意してはたいても落ちないように

また風よけもつくる

